



令和3年1月発行

## 新春号

お問い合わせ

三元ラセン管工業株式会社  
大阪市城東区永田1-2-37

TEL ☎

06-6968-2037

FAX 📠

06-6968-7475

instagram



facebook



### 平野専務 45年間のお勤めお疲れ様でした

去年の11月に平野雅雄専務(70)が退職されました。

私が生れた1975年に入社して45年間、三元ラセンのために文字通り、身も心も費やして会社の発展のために尽力されてきました。まだまだ体力的には働くことが出来るのですが、これからはゆっくりと旅行や趣味などを楽しまれるようです。三元をいままで以上に良い会社にしていくことが、最高の恩返しとなるでしょう。これから始まる第二の人生を高らかに謳歌してください。今までありがとうございました！



チョット  
高嶋会長に聞いてみた

平野さんより入社が一ヶ月早く、以来45年間苦楽を共にした盟友である高嶋会長に思い出を語ってもらった。

佐藤 「会長が営業で専務(平野)が技術だったということですが」

高嶋 「技術的なことはすべて専務(平野)に任せて色々フレキのことを教えて貰った。専務は営業経験ゼロだったので最初はとにかくガムシヤラでした。」

佐藤 「どのような営業をされていたのでしょうか？」

高嶋 「新規開拓のために取引したい相手先の会社に朝イチから赴き、朝礼に参加。机などの拭き掃除を一緒に行って信用をして頂き、新規のお客様を増やしていきました。」

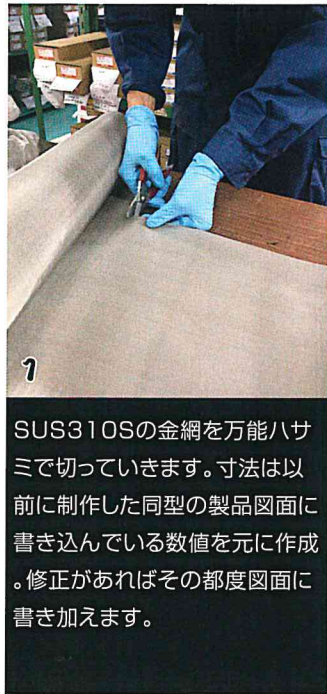
佐藤 「すごい時代ですね！趣味も色々あると聞いています」

高嶋 「絵を描くのが上手で、彫刻やカメラもします。版画の年賀状を毎年頂いていました。仏像を彫ったりもしていたらいいですよ！」

会長の話を聞き、改めて三元の礎を作ってきた人物というのがわかった。そして、当時の話をする会長の顔がいつにも増して熱く嬉々として、自分にも思いが伝わってきた。このような昔話はただのノスタルジーではない語り継いでいかなければならない事、伝承の一つである。



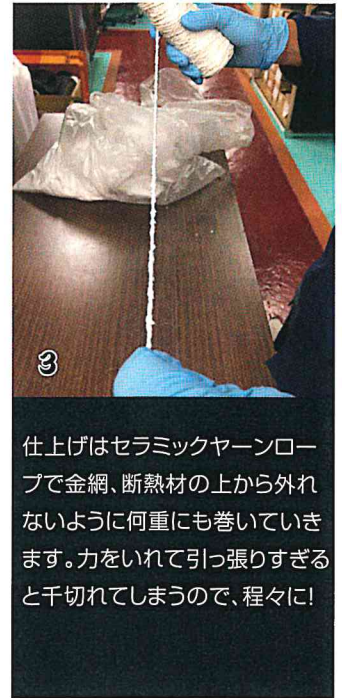
# 匠の技 職人の心



1  
SUS310Sの金網を万能ハサミで切っていきます。寸法は以前に制作した同型の製品図面に書き込んでいる数値を元に作成。修正があればその都度図面に書き加えます。



ガラスビールを金網の外に巻きつけていく。このとき、少し金網より長めに。  
この作業中、素手のままだとチクチクするので使い捨て手袋は必需品なのである。



3  
仕上げはセラミックヤーンロープで金網、断熱材の上から外れないように何重にも巻いていきます。力をいれて引っ張りすぎると千切れてしまうので、程々に!



水着の素材を使用した、ミズノ高機能マスク。少しヒンヤリして夏に最適。抽選販売で勝ち取った運のいい男。



友人に作ってもらったマスク。100%綿なので夏は暑いが、不織布マスクだと肌荒れしちゃうんです。女性らしい綺麗な色合いと柄です。



家に余っていた布を使用して制作。元々持っていた唐草模様の小銭入れとお揃いになりました。



夏に涼し気な清涼感のある白でクールな男を演出。

## 個性派 マスク特集

いまや身体の一部、時代はNEW NORMALへ

コロナ禍での新しい生活習慣として、マスクの着用が人々の間に浸透しています。海外ではNEW NORMAL(新しい日常)の一つとして徐々に広まっていっているようです。三元ラセンも作業中はマスクを着用しています。(暑いときは外すこと)私自身は不織布マスクよりも手作り感あるマスクのほうが付け心地も見た目も満足感があるので、最近はおっぱら手作りマスクを使用しています!他の従業員の人もそれぞれ個性のあるマスクをしているのでちょっとチェックしてみましょう!!



### 編集後記

梅雨号を出してから随分と時が経ってしまいました。マスク特集のコーナーは数ヶ月前には完成していたので現在の状況とはちょっと違いますね。今後はもう少し早い時期?!での発行を目指してまいります。この文章を書いている現在、とうとう週明けには大阪に二回目の緊急事態宣言が発令されるかもしれません。夜明け前が一番暗いという言葉信じて、今年が良い年になりますように。次号、また逢う日まで一日一日を全力で!

年末に事務所のレイアウトを大変更!!  
かなりスッキリになりました。

おまけ

